

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本史	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	知能機械工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	日本史A-現代からの歴史-(東京書籍)						
担当教員	中山 良子						
到達目標							
この時期の日本史の基本的流れについて、植民地、産業、文化の三側面から説明できるようになる。近現代日本における科学技術に関して、基本的な説明ができるようになる。昭和を生きた経験を、他者から聞きとり、通史に位置づけなおすことができるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		この時期の日本史の基本的流れについて、植民地、産業、文化の三側面から説明できる		この時期の日本史の基本的流れについて、植民地、産業、文化の三側面からおおむね説明できる		この時期の日本史の基本的流れについて、植民地、産業、文化の三側面から説明できない	
評価項目 2		昭和を生きた経験を、他者から聞きとり、通史に位置づけなおすことができる		昭和を生きた経験を、他者から聞きとり、通史に位置づけなおすことができる		昭和を生きた経験を、他者から聞きとり、通史に位置づけなおすことができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		近世後期(江戸時代)から高度経済成長を迎えるまでの日本史を、通史的に学ぶ					
授業の進め方・方法		講義に加えて、自分に近い人からの聞き取りも課題とする					
注意点		【事前学習】教科書の該当の時期にあたる部分を、事前に読んでおく。【事後学習】授業後、関連図書などを案内するので、復習時に読んでおくこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	植民地と江戸				
		2週	明治維新と新政府				
		3週	自由民権運動				
		4週	日清戦争と台湾の植民地化				
		5週	日露戦争と朝鮮の植民地化				
		6週	産業革命と科学技術				
		7週	産業革命と科学技術				
		8週	都市下層を見るまなざし				
	2ndQ	9週	第一世界大戦と日本、第一次世界大戦の科学技術				
		10週	大正デモクラシーと社会運動				
		11週	選挙権拡張と政党政治				
		12週	第一次大戦期における日本の工業				
		13週	消費生活を生きる人々				
		14週	金融恐慌				
		15週	昭和恐慌と満州事変				
		16週	期末試験				
後期	3rdQ	1週	日中戦争とその行き詰まり				
		2週	日中戦争から太平洋戦争へ				
		3週	敗戦まで 沖縄戦の展開・原子爆弾の投下				
		4週	戦下の国民生活(空襲、疎開、小国民)				
		5週	占領期の政策 (教育、女性参政権)				
		6週	占領期の生活				
		7週	講和成立から55年体制へ				
		8週	娯楽と人々 映画の時代				
	4thQ	9週	1960年代・1970年代の政治 安保・三池・沖縄返還				
		10週	高度経済成長の中の技術 道路と車の普及				
		11週	高度経済成長の中の技術 テレビと新幹線				
		12週	高度経済成長の中の技術 日本住宅公団				
		13週	他者の記憶の中の「昭和」				
		14週	他者の記憶の中の「昭和」 発表				
		15週	ふりかえり				
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
		定期試験		授業中の課題(提出物、小テスト)		合計	
総合評価割合		70		30		100	

配点	70	30	100
----	----	----	-----